

ヴェリタス学習会通信 112

予定表カレンダー →



令和8年7月の予定

- ・月曜日 7月6・13・20・27日 大安公民館1階研修室 18:30～21:00
- ・火曜日 7月7・14・21・28日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00～20:30
- ・水曜日 7月1・8・15・22・29日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
- ・木曜日 7月2・9・16・23・30日 北勢市民会館1階リハーサル室 18:30～21:00

藤原文化センターは休止中です。水曜日はヴェリタス事務局で開会しています。

ヴェリタス事務局の所在地は、511-0261 いなべ市大安町丹生川上 650-1 です。
丹生川上集会所（旧丹生川上児童館・教育集会所）内です。

警報が出ている場合は休会にします。いつもその会場に来ている方には LINE などでお知らせいたしますが、不安な場合はお問い合わせください。



連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189（+メッセージも可能）

メールアドレス：npoveritas@gmail.com

LINE ID：m9s0bay（4文字目は数字のゼロです）

Facebook の「松宮 卓」に友達申請していただければ Messenger が使えます。

メールや LINE 登録をしていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数料削減協力のため、できる限りご登録ください。LINE を利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



Zoom などの会議ツールを利用しませんか



利用が広がっている Zoom クラウドミーティングや Skype, Facetime, Google Meet などを利用して学習しませんか。興味のある方は、ご相談ください。

（画像は生成したもので、実在の人物ではありません）

以前につくった英語の名詞と名詞系語句についての中学生用のファイルを上げました。右の QR コードか下記の URL からご覧になれます。



<https://www3.cty-net.ne.jp/~veritas/info25/noun01.pdf>

日明貿易は朝貢（ちょうこう）形式



中国では14世紀に、漢民族がモンゴル民族（元）を北に追いやって、**明**を建国しました。

倭寇（海賊）に悩まされた明は、外国との交易を制限し、**朝貢**形式としました。

朝貢とは、「俺（明の皇帝）の方が偉いんだぞ。お前たち（日本など周辺国）は、それぞれの国の王として認めてやるが、俺の子分なんだ。貢物を持ってきなさい。そうしたら、ご褒美をあげるよ」という姿勢の貿易です。

室町幕府の第3代將軍足利義満は、これを受けます。**勘合**という割り符を使って正式な交易船だと証明したので、この**日明貿易**は**勘合貿易**とも呼ばれます。明の皇帝に向けた書簡で義満は自分のことを「臣源」と書いて、家来であるとへりくだっています。「臣」は家来であるということ。足利氏は源氏なので、正式な氏は「源」です。

名を捨てて実（じつ）を取る

今、日本政府が中国に対して「家来です」と言うことは、間違ってもありません。そんなことをすれば、すぐにそのことが国民に知れ渡って、内閣支持率が急落することでしょう。

しかし、当時、將軍が明にへりくだっているという事実は、ほんの一握りの人物しか知りえませんでした。あとは、將軍や幕府の気持ちだけです。

実は、この朝貢形式は、日本にとって経済的にとても有利なのです。明に**刀**や**銅**・**硫黄**・**漆器**・**鎧** 兜をあげば、その何倍もの価値の**銅銭**・**生糸**・**絹織物**・**書画**・**陶磁器**をご褒美としてもらえるのです。貢物の他に持っていった品物は、明国内で売ることができました。関税も払わなくていいので、日本は大幅な貿易黒字です。しかも、中国での滞在費や旅費も明が持ってくれるのです。儲かったお金の一部で**金閣寺**を建てることのできたのです。

「世界の中心で華のように栄える国をつくっているのが漢民族なんだ。周りの国はみんな家来」という**中華思想**を歴代の王朝は持ち続けてきました。現在、世界第2の経済大国に成長した中国は、この手法を使っています。一部のアジアの国々やアフリカの国々の援助をして、その代わりに「言うことを聴いてね」と言っています。



プライドが許さん

中学校では習わないのですが、第4代將軍足利義持は、「明の下につくことは、プライドが許さん」と考えたのでしょ。勘合貿易を中断してしまいます。やっと再開されたのは第6代將軍足利義教のときです。

現在、ウクライナや中東で戦闘や紛争が起きていますが、実益とプライドが複雑に入り混じっているため、なかなか終結しません。人命という一番大切なものを軽んじて、何を求めているのでしょうか。

応仁の乱以降、権力の衰えた幕府に代わり、勘合貿易は堺商人和結んだ細川氏や、博多商人和結んだ大内氏が行うようになります。堺や博多は、**町衆**と呼ばれる有力商人が、会合を開き自治を行うようになっていきます。重要な港を持つ桑名でも、守護や地頭に代わって、町衆や**産**の組織が港を管理し、自治権を拡大していきます。桑名の自治には、寺社も大きく関わりました。

（2つの画像は Copilot に描いてもらいました）